

令和6年4月2日

一般社団法人ウッドマイルズフォーラム  
正 会 員 各 位

一般社団法人ウッドマイルズフォーラム  
役員一同

## 一般社団法人ウッドマイルズフォーラム 発展的解散のご提案

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素から当会事業にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、一般社団法人ウッドマイルズフォーラムの発展的解散を提案させていただきます。

弊会は、2003年に発足したウッドマイルズ研究会を前身として、2014年の一般社団法人設立を経て、世界が共有する“持続可能な循環型社会の実現”を理念とし、その循環型社会の主役としての木材、特に地域材の持つ環境性能についての理解が広がることの重要性に鑑み、ウッドマイルズ関連指標をはじめとする多面的な指標の開発、普及・利活用の実践を通して、トレーサビリティを確保した地域の木質資源の利活用を推進すること、及び、それらの諸活動を手掛かりに、わが国の山村と都市相互の幅広い、安定した地域連携関係の構築に寄与することを目的として、ウッドマイルズ関連指標や木材調達チェックブックの開発、及び普及のためのセミナーの開催等、多面的に活動をして参りました。

昨今では、脱炭素社会への取組の必要性が高まる中、特に輸入材から国産材へのシフトによる環境貢献度を明示するためにウッドマイルズ関連指標を活用したいという木材関係事業者の声に答えるべく、ウッドマイルズ関連指標を中心として効率的・効果的に環境貢献度を明示する仕組みづくりの検討や川上川下連携のための調査検討、発電利用に供する木質バイオマスの証明に係る事業者認定事業等を継続しておりますが、現在の事務局や組織体制のままでは、これらの活動の継続が難しい状況であり、今後、活動をより安定的に、より幅広く普及していくため、事務局や組織体制の根本的な改革、及び、他団体との連携が必要であると考えます。

つきましては、現在の一般社団法人ウッドマイルズフォーラムは発展的に解散させ、木の建築賞の実施等で連携して参りましたNPO法人木の建築フォーラムに協力を要請し、同団体の中の一事業として活動を再始動することで、発展的に継続させていくことができると考えております。

NPO法人木の建築フォーラムは、木造建築の復活・復興を目的として1986年に発足した木造建築研究フォーラム（代表：内田祥哉氏）を前身として2001年にNPO法人化した団体で、我が国の川上から川下までの連携を支援することを主目的とした全国版のネットワークとして、公開フォーラムや研究集会、木の建築賞、講習会、見学会、その他の活動を行っており、森林、木材、建築等に関わる研究者から実務者まで、幅広い会員が参画しています。NPO法人木の建築フォーラムの新たな事業として、ウッドマイルズを主とした活動が出来ることは、各地域の川上川下連携の推進や木材利用における環境貢献の評価等について、より積極的な活動が出来ることを期待しております。

今後は、ウッドマイルズフォーラム理事長の藤原、及び専務理事の滝口が中心となり、NPO法人木の建築フォーラムの一事業として、これまで実施してきたウッドマイルズに関する活動について責任を持って継続させていただきますので、一般社団法人ウッドマイルズフォーラムの発展的解散についてご賛同頂けたら幸いです。また、今後はNPO法人木の建築フォーラムの会員として、引き続き本活動のご支援を賜りたく、ご支援ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。